

## 己の力を信じて



1999年 吉井 章浩

関西大学を卒業して、はや8年がたとうとしています。期待を胸にして入学し、卒業までの4年間もあっという間でした。関大の桜も懐かしく思えてなりません。本当に青春時代でした。

さて、最近では、子供が祖父を殺したとか、インターネットを通じての犯罪など、今までなかった犯罪がとて多くなっているように思えます。それは自分自身という核が無い故にこのようなことが起こるのだと思います。私は、自分自身という核を持つために練習をしていました。納得のいくまでの反復練習を繰り返ししていました。そして、自分自身という核を強固なものにするためには、毎日の練習、プラス何をするかという、その何かがとても重要になります。つまり努力することにより自信を持つのです。試合前に、いかに自信を持って臨めるかが大きなポイントであります。そして、最後に努力は報われると思います。

私が、レスリング部に入部しようと思ったのは、次の理由からでした。それは強くなってオリンピックに出てやろうという気持ちからでした。競技人口が少ないレスリングならオリンピックに出られるかもしれないと思ったからです。

合宿で印象的だったのは、近江合宿でした。近江高校での合宿は、ジャンケンで負けたらその人を”おんぶ”して何歩歩くか等、心とむ練習があったりもしました。しかし、マットの上では激しい練習が繰り返されていました。高校生に負けるわけにはいかず、プライドのぶつかり合いです。

OBの方々も練習に参加してくださったおかげで、内容の濃い練習が出来ました。また、マットの上だけでなく宿舎に来て「吉井！吉井！」と大きな声で呼び、何ごとかと思っていると、がぶりの練習をしようとするOBの方がいらっしゃり、お酒でも入っているのではないかと思ったりし、呼んでくださるのが、嬉しいのやら怖いのやらで不思議な気分でした。そのような先輩もいらっしゃり、今となったら良い思い出です。合宿も終わり、家に帰るころになると、暑さの中ですが風の一風でさえ心地よく感じられ、爽快感でいっぱいでした。

最後の年のリーグ戦の布陣は、伴先生、横山監督、安田コーチ、4年生二人、2年生三人、1年生二人でした。そのため柔道部から何人か出てもらいました。私は、研究室の関係で春季リーグ戦は欠場し、秋季のみ出場しました。リーグ戦でいつも思うことは、関大OBの声援は凄いこと。いつも勇気づけて下さいました。試合をやっても心強かったです。試合の方は、自分が勝てばチームの勝利が決まり、3位になれるといったとても大事な試合が最後の僕にのしかかってまいりました。そして、大事な試合に勝利することができました。緊張も無く、とても冷静に試合をすることができました。そして、勝利の余韻を味わうより早く私は宙に浮いていました。皆に胴上げしてもらっていたのでした。皆が一つになれた結果が、胴上げになったのかなあと思います。しかし、偶然でもこのような形で試合ができて選手冥利につきます。こ

うして2部3位という結果を残すことができました。これまでは部員が少なかったせいもあり、良い成績が残せていませんでした。このような結果が残せたのもOBの先輩方の心強い声援のおかげだと思っています。

伴先生をはじめ、横山監督、安田コーチ、部員の皆と多くの人達の支えがあり、主将としてやれたことを誇りに思え、感謝したいです。そして、60年という歴史の中のほんの4年、確かに足跡を残せたことを誇りに思えます。また、現役学生には、当たり前のことを当たり前のことのようにできるようになって下さい。そして、最後に関大レスリング部の益々の発展を願い、ペンを置かせてもらいたいと思います。

#### 「1999年の陣容」

顧問 伴 義孝  
 監督 横山博行  
 コーチ 安田忠典  
 主将 吉井章浩  
 副将 -  
 主務 立澤 豪  
 学連 -  
 4年生 立澤 豪・吉井章浩  
 3年生 -  
 2年生 浅井隆宏・関 浩一・比与森正志  
 1年生 遠藤拓磨・松浦崇明



この時期としては傑出した成績2部3位

#### 「1999年の試合結果」

##### 大阪府民体育大会

54キロ級 第3位 立澤 豪  
 58キロ級 第3位 浅井隆宏  
 85キロ級 第2位 谷山亮介 (OB)  
 85キロ級 第3位 甲斐 晶 (OB)

##### 西日本春季リーグ戦

2部8位 (1勝4敗)

##### 西日本学生選手権

F54キロ級 ベスト8 立澤 豪  
 F58キロ級 第3位 吉井章浩

##### 大阪府国体最終予選

54キロ級 優勝 立澤 豪

##### 西日本秋季リーグ戦

2部3位 (3勝1敗)